

平成26年度

環境活動レポート



対象期間 : 平成25年5月～平成26年4月

発行年月日 : 平成26年7月1日

信幸プロテック株式会社

村松幸雄 

目 次

1	挨拶	1
2	環境方針	1
3	事業概要&認証登録範囲	2
4	実施体制	3
5	環境目標	4
6	環境活動計画	5
7	環境目標の実績	6
8	環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容	7
9	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、 訴訟の有無	8
10	代表者による全体評価と見直し結果	8

1 挨拶

エコアクション21に取り組み、早くも3度目の審査となりました。「光陰矢のごとし」を実感する3年間でありました。また「石の上にも3年」の例えのごとくでもあり、社員の皆さんの環境意識と取り組みが際立って成長した3年間でもありました。特筆すべきは、環境委員会と安全委員会が自ら率先企画して先進企業の視察をしたり、その事例を研究し「全社員共有」を図る勉強会を開催したことであります。特別に経営幹部や社長が命令や号令を発することなく、自ら企画して行動してくれていることに。本来の率先した環境経営の姿がそこにあると実感しています。この自発行動は、管理の届かない現場などでも当たり前行動として発揮していると挨拶、清掃、KY活動の報告結果からも伺えます。エコアクション21を通して環境意識と実践で成長する社員に、今後もますます信頼と期待をするものであります。欲をすればきりがありませんが今後、事業活動を通して、最善で三方よしの省（小）エネ事業を展開してもらいたいと願っています。これこそ我社の企業使命と思っています。

代表取締役社長

村松 幸雄

2 環境方針

「私たちの手でかけがえのない地球を守りたい」

《環境理念》

私たちは冷凍設備と産業設備に関わり、エネルギーを取り扱う者の使命として、省エネルギー設備の提案と事業活動のあらゆる分野で環境を守る行動に努め、地域の産業と人々の暮らしの役に立ち、なくてはならない存在となります。

全社員が「私たちは省エネルギー活動で地球を守り続けていきたい！」との信念を掲げ努力と貢献を続けます。

《行動指針》

1.温暖化ガス排出量の削減と省エネルギー活動の推進

- ・燃費改善に全員で努めます
- ・電力使用量の削減に努めます
- ・高効率機への更新提案で省エネルギー化の促進に努めます

2.排水量の削減

- ・節水を心がけ最適消費で水資源を有効に使います

3.廃棄物の削減と循環型社会を目指します

- ・廃棄物の削減、再使用、再生利用を常に考え行動します

4.事業活動で取り扱うフロンガスおよび臭化リチウムについて、回収の推進を図ると共に適正処理に努めます

5.事業活動を取り巻く環境関連の法規制を順守します

6.エコアクション21ガイドラインに従って運営し、全社員及び社会に約束し、活動結果を公開します。

- ・常に整理整頓、再資源化・再利用を行い、廃棄物の削減に努めます
- ・社内活動「エコアクション」への社員全員参加を呼びかけ、社内整備・改善に努めます

制定年月日：平成24年7月1日

信幸プロテック株式会社
代表取締役社長

村松 幸雄

3 組織の概要

1 名称及び代表者名

信幸プロテック株式会社
代表取締役社長 村松 幸雄

2 所在地

本社 岩手県紫波郡矢巾町広宮沢第8地割5番地1

3 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者	トータルメンテナンス部 課長	小笠原 利章	TEL :019-697-7200
担当者	経営管理部 課長	村松 直子	TEL :019-697-7200
		E-mail	info@srs.co.jp

4 事業活動の内容

空調設備施工・保守・修理
フロンガス・吸収液（臭化リチウム）回収処理
食品・飼料工場車輻消毒設備施工

5 事業規模

資本金	10百万円		
製品出荷額（又は、販売額）		3	億円
工事件数		130	件
従業員		32	名
延べ床面積		212.5	m ²

6 認証登録範囲

全サイト・全組織・全事業活動が認証登録範囲
産業廃棄物の収集運搬業は自社排出分のみ

7 事業経歴・営業範囲

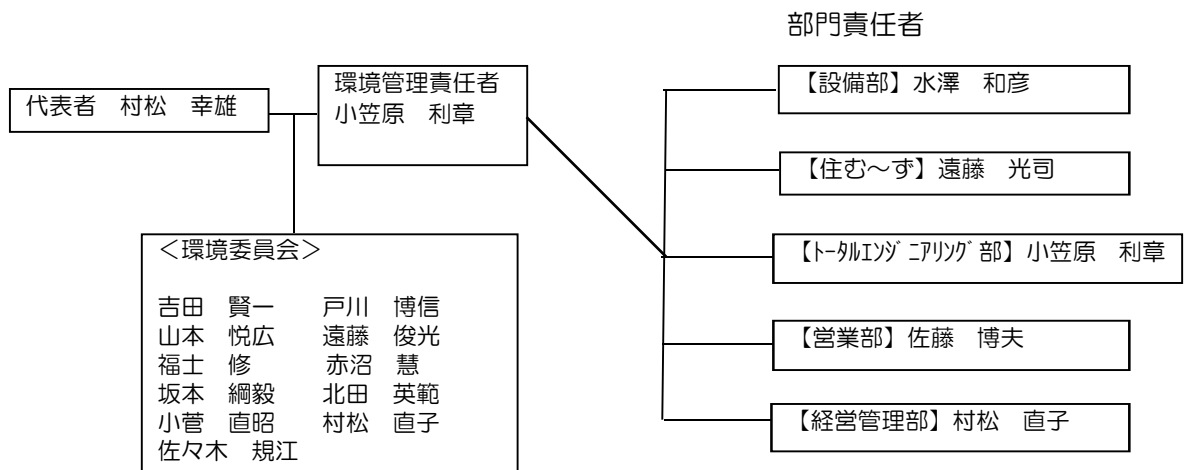
事業経歴

昭和62年 創業（有限会社 信幸冷熱サービス）
平成19年 信幸プロテック 株式会社に社名変更

営業範囲

岩手県内全域

4 実施体制



責任者の役割

代表者 村松 幸雄

- 環境管理責任者の任命
- 環境保全に関する人員、設備、資金の設定
- 環境方針の設定
- エコアクションシステムの見直し

環境管理責任者

- エコアクション21 活動責任者
- 進捗管理

事務局（環境委員会）

- 環境目標、計画の作成
- エコアクション21 活動推進
- データ収集、分析、整理
- システム運用上の事務管理
- レポートの作成、公開

部門責任者

- 環境活動の実施
- 各人員への指示、管理

5 環境目標

取組項目・目標

①電気 -3% (-35kwh/年)	
★不要な照明を消しましょう	退席時、照明の点けっぱなし無いか確認
★待機電力カット	退席時電源OFF ※プリンタ・会議室テレビの主電源OFF
★倉庫照明LED化	今期は倉庫②を実施
★太陽光発電(4.8kw)設置	余剰発電を行い、電力使用量抑制を目的として設置
★クールビズ	各自工夫する
★エアコンの使用制限	温度設定:冷房時28℃/暖房時20℃ ★グリーンカーテン・扇風機
②水 -1% (-3m³/年)	
★節水を心がける	
★軍手の洗濯回数を見直し(少量時は回さない)	【フロント】一定量溜ったら洗濯するルール
③燃料 -3% 【ガソリン・軽油・灯油】 昨年度の目標:-5%	
★エコドライブの徹底	★急発進・急停車・アイドリング等しずい・高速道路100km以下
★タイヤの交換時期になったらエコタイヤへ	燃費改善に大きく貢献できることが判明
★シーズン用のタイヤを履く(※履きつぶしはNG)	燃費の悪化と事故の原因となる
★タイヤの空気圧チェック	【毎月の車両点検時チェック(流通商事様) + 各自出発時チェック】
★燃費改善率を毎月担当ドライバーがチェックしランキングシートに入力・年間の優良者を表彰	
★FF暖房機の使用制限	温度設定:20℃
★ウォームビズ	各自工夫する
④OA用紙(物質投入量) -6%	
★PCFAXの積極活用	【フロントにて導入準備中】
★再生紙の活用	★整理整頓による紙の再利用推進
★経理帳簿の電子保存(紙の帳簿を廃止)	
⑤廃棄物 -1% 【廃プラ・廃オイル・燃えるゴミ】	
★倉庫整備を強化し、在庫管理の改善	★わかりやすい在庫管理・ムダな購入をしない 【近藤俊光さん・環境委員会でも倉庫整備実施】
★紙のリサイクル	★ゴミ箱にOA用紙を捨てない
⑥CO2排出量削減のための省エネ機器販売売上 +10%	
★高効率機器への入替を積極的に提案し、省エネ化の促進	

CO2排出量
★ガソリン:1Lあたり「2.3kg」
★灯油:1Lあたり「2.5kg」
★電気:1kwあたり「0.429kg」

【中期目標】

取組項目	2011.5.1~2012.4.30 基準年(2011年)	削減目標 2012	目標値 2012年	削減目標 2013	目標値 2013年	削減目標 2014	目標値 2014年	削減目標 2014	目標値 2015年
電力(kwh)	18,544	-3%	17,988	-3%	17,988	-3%	17,988	-3%	17,988
水(m)	214	-1%	212	-1%	212	-1%	212	-1%	212
燃料(L)		-5%		-3%		-3%		-3%	
<ガソリン>	7,227		6,866		7,010		7,010		7,010
<軽油>	28,121		27,685		28,247		28,247		28,247
<灯油>	4,165		4,242		4,331		4,331		4,331
OA用紙(枚) (物質投入量)	0.282	-6%	0.265	-6%	0.265	-6%	0.265	-6%	0.265
廃棄物(t)		-1%		-1%		-1%		-1%	
<燃えるゴミ>	3.39		3.36		3.36		3.36		3.36
<廃プラ>	2.7		2.67		2.67		2.67		2.67
<廃オイル>	3.5		3.47		3.47		3.47		3.47
環境配慮商品 販売売上(万円)	¥3,259	10%up	¥3,585	10%up	¥3,585	10%up	¥3,585	10%up	¥3,585

6 環境活動計画・実施状況

当社では、環境方針に基づき二酸化炭素、廃棄物、水使用量を削減し、環境目標を達成するため、従業員が一丸となって省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル及び節水等に取り組んでおります。取組の実施状況の評価結果は、表3のとおりです。

表3 主な環境活動計画の内容と取組結果

項目	取組内容	評価	備考	
二酸化炭素排出量の抑制	照明	不要な照明OFF	△	
		工場横と裏・ゴミ置き場・車庫のセンサーライトのLED化	○	倉庫②は必要なし
		個別照明のセンサーライト化	○	完了
	冷暖房	エアコンの使用制限	○	
		クールビズ・ウォームビズの推進	○	
		グリーンカーテンの設置による遮光・遮熱	○	
		扇風機の活用	○	
	節電	スイッチ付OAタップによる待機電力カット	○	
		OA機器の主電源OFF	△	プリンタ・コピー機等
		会議室テレビの主電源OFF	○	
	車輛その他	エコドライブの徹底	○	燃費シート入力
		タイヤの交換時期にエコタイヤに交換。時期に合ったタイヤを使用	○	
		タイヤの空気圧チェック	○	車両日報記入
太陽光発電設備の設置		○	H26.2設置	
廃棄物の排出抑制	一般廃棄物	購入前に必要性和廃棄方法の再確認	△	
		倉庫整備を強化し、在庫管理の改善	○	各倉庫の整備に着手中
		経理帳簿のデータ化、OA用紙のリサイクル、裏紙の活用	○	
	産業廃棄物	購入前に必要性和廃棄方法の再確認	△	
		倉庫整備を強化し、在庫管理の改善	○	各倉庫の整備に着手中
		分別を徹底する	○	
節水・排水	用水・排水	台所混合栓節水コマ取付	○	
		洗濯回数の見直し（少量時は回さない）	○	
		節水型トイレへの更新検討		H26年度検討
グリーン購入	消耗品購入時「グリーンマーク」表示のある商品を購入する	○		
製品・サービスに関する取組	高効率機器への入替を積極的に提案し、省エネ化の促進	○		

7 環境目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。

今回は、平成25年5月から平成26年度4月までの実績についての評価結果を報告いたします。

- 電力の使用については、未達成ではあるが、省エネの意識は概ね上がっている。
太陽光発電設備の設置ができ、電力使用量の抑制および余剰売電が期待できる。
- 石燃料の使用量は、新車4台購入したこともあり、燃費が改善されたこともあり燃料使用量を減らすことができた。引き続き、燃費改善に努めたい。
- 排水量は、融雪をお湯で行った為、大幅な増加となった。今後は電気での融雪とする。

表4 当該年度の環境目標の達成状況等

項目	単位	基準年	当該年度		環境目標の達成状況	
		実績値	削減(増加)	目標値		実績値
1、電力の二酸化炭素	kg-CO ₂	7,955	3%削減	7,717	9,117	未達成
2、燃料の二酸化炭素	kg-CO ₂	104,193	3%削減	101,067	95,320	達成
3、二酸化炭素合計	kg-CO ₂	112,148	—	—	—	
4、一般廃棄物	t	7.24	1%削減	7.17	6.24	達成
5、産業廃棄物	t	6.15	1%削減	6.09	3.37	達成
6、総排水量(節水)	m ³	214	1%削減	212	228	未達成
7、環境配慮製品・商品の製造・販売	万円	3,259	10%増加	3,585	6,823	達成

注：購入電力の二酸化炭素排出係数は環境省報道発表（H24/1）の東北電力実排出係数 0.429k g-CO₂/Kwを使用

環境活動の状況



<GHP倉庫改善の様子>



<太陽光発電設置>



<地域貢献活動> 事務所近隣のごみ拾い



<フロント（内勤者）避難訓練>



<太陽光発電設備提案・施工>
岩手県内・50kw

8 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容

1. 取組結果の評価

表5 主な環境活動計画の内容と取組結果

項目	実施状況の評価	備考		
二酸化炭素排出量の抑制	照明	△ 各倉庫のLED化はほぼ完了。消灯の意識が薄れているので、啓発を促し意識の向上を図る。	内勤従業員の増加による使用照明の拡大が未達成の要因の一つ。無駄な照明は消灯する意識が低下しているわけではない。 H26年2月20日より自社の太陽光発電開始（余剰売電） 3・4月は、太陽光発電のおかげで電力使用量抑制ができています。 燃費チェックシート入力を継続していること、新車4台購入が達成の大きな要因。 工事件数が増えたことで、梱包材が増加した。分別は適正に行っている。旧カタログ引取をメーカーさんをお願いできた。	
	冷暖房	○ クールビズ（エフォー・リニューール、Tシャツ配布）で昨年よりエアコンの使用を控えられた。		
		△ グリーンカーテンの成長が悪かった。		
	節電	△ OAタップの電源OFFがかなり定着したものでできていない人の固定化が目立つ。啓発必要。		
	車輛その他	○ 新車購入		
		○ エコドライブ運転の優良者へ表彰を行い、継続したエコドライブ運転ができています。		
	排出物抑制の	一般廃棄物		○ 古紙、雑誌類の分別が適正に行われている。
				○ 旧版カタログはメーカーさんへ引取をお願いした。
産業廃棄物	○ 分別とリサイクルができてきている。			
排水・節水	用水・排水	○ 洗濯回数必要最低限にしている。		
		× 融雪をお湯で行った為、大幅な増加となった。		
グリーン購入	○ 事務用品の購入時は意識している。			
製品・サービスに関する取組（環境配慮型製品・商品の販売）		○ 高効率機器入替の提案件数が増え、工事に結びついた。		

○：評価できる、△：ますます評価できる、×：評価できない

2. 次年度の取組内容

(1) 二酸化炭素排出量の削減

自社の屋根に太陽発電設備による電力抑制（4.8kw/余剰売電）
車両のタイヤ買い替え時、エコタイヤ（エコピア）への更新進める

(2) 廃棄物の排出削減

在庫管理の強化を図るため、倉庫整備を計画的に進める
一般廃棄物の分別の徹底

(3) 節水（排水対策）

洗濯回数の削減、節水トイレ購入検討

(4) 製品・サービスに関する取組

環境配慮製品の販売促進を継続
太陽光発電設備工事・申請業務の積極推進、PR活動
フロンガス・臭化リチウム回収件数アップ

(6) その他の取組

9 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受けるフロン回収破壊法など、環境関連法規について遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。

また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟等について、問題が有りませんでした。

10 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し項目	評価	改善及び指示
1環境方針	フロンガス/臭化リチウム回収のPR活動を率先して推進していることを評価する。 省エネルギー活動として、高効率機器更新の提案件数の増加、売上にも結実している。	会社全体に再度エコアクションの内容と我が社の方針を周知して意識を高め、社内強化事項である在庫管理へもう一步管理体制を発展させてほしい。
2環境目標	自社太陽光発電設備による電力使用量の抑制と、太陽光発電設備提案・施工のPR活動につながっていることを評価する。	高効率エアコンの販売の他に、太陽光発電設備やヒートポンプ設備について、もっと社内での勉強会が必要ではないか。さらに提案力を身に付けてほしい。
3環境活動計画及び環境経営システム	SS先進企業の見学を通して、事務所内で改善提案が目立ち、大変良いものと評価する。	改善の重点項目である在庫管理の強化を図る為、担当部門や委員会等で智慧を出し合い、より具体案をもって進めてほしい。
4その他()	事務所近隣の清掃活動、産業まつりを通しての地域貢献は素晴らしいのでぜひ続けてほしい。	
<p>5全体評価 一年を通して、社内や倉庫及び周辺環境の整備について高い意識で取り組む姿が見られた。環境面だけでなく、経費の削減や生産性の向上など経営面での効果についても目が向いていることを大変うれしく思っている。また、周辺美化など新たな活動に積極的に取り組む姿を評価している。一方で、会社全体では再度意識の底上げが必要と考えるので、委員会だけでなく全社員からも改善提案や継続取組の姿が見られるよう、周知活動や学習機会に知恵を出すことを期待する。</p>		
<p>上記のとおり指示します。平成26年7月1日 代表者 村松 幸雄</p>		